事 務 連 絡 令和元年 月 日

地域包括支援センター 居宅介護支援事業所 御中 小規模多機能型居宅介護事業所

生駒市福祉健康部長 影林 洋一

居宅介護・介護予防指示書及び診療情報提供書の取扱いについて

平素は本市の保健福祉施策にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本市におきましては、医療介護連携体制の構築及び介護保険制度の円滑な運営を目指し、 利用者が適切なサービスを受けることができるよう、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所 及び小規模多機能型居宅介護事業所に様々な周知をしております。

その一つとして、ケアプラン作成時には必ず主治医の先生方に、居宅介護・介護予防指示書もしくは、診療情報提供書の作成依頼を行い、留意事項等を充分に配慮した内容のケアプランを作成し、主治医の先生にそのサービス提供内容を承知していただくよう徹底しているところです。

居宅介護・介護予防指示書及び診療情報提供書は、ケアプランの作成時や変更時等における最新の医療情報と留意事項を充分に配慮した上で、患者の自立支援・重度化防止やリスク管理を行うとともに、医療介護連携の促進を図るためのものです。

主治医に診療情報の提供を求める際には利用者へ費用負担に関する説明を行い、必ず利用者の同意を得た上で、別紙様式で依頼していただくとともに主治医の判断で下記の何れかで算定いただくよう説明をお願いいたします。

記

※ 医療保険適用者は診療情報提供料(I)

介護保険 要介護認定者は居宅療養管理指導料

介護予防・日常生活支援総合事業対象者は医療保険による診療情報提供書

問い合わせ

生駒市 介護保険課 給付係 (TEL 74-1111、内線 486) 地域包括ケア推進課 予防推進係 (内線 463)

依 頼 状(介護給付)

			令和 牛 月 日
			[担当ケアマネジャー]
		様	事業所名
			氏 名
			電 話
			F A X
	介護サービス	スに係る診療	寮情報提供書等について
を「子のでである。 に十つでで多れ、 になるに、 になるである。 になるである。 になるである。 になるである。 になるである。 になるである。 になるできる。 となるできる。 となる。 となるでもな。 となるでもな。 となるでもな。 となるでもな。 となるでもな。 となるでもな。 となるでもな。 となる。 となる。 となる。 となる。 となる。 となる。 となる。 とな	護・介護予防指示書」もしく	介護サービ は、 度化 防止 利用 しまで に もまで に 入利用 に 、 利用 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ス計画 (ケアプラン) 作成の際には主治医の先生方情報提供書」の作成をお願いし、医学的な留意事項よびリスク管理を行っております。 にあたり、医学的な留意事項等の情報を別添の様式 返信いただきますようお願いいたします。 自己負担がかかることを本人及び家族に説明を行
		記	2
氏 名		生年月日	□明治 □大正 □昭和 年 月 日
要介護度	□申請中 □要介護1 □要介護	2 □要介護3	3 □ 要介護 4 □ 要介護 5
有効期間	年	月 日	~ 年 月 日
利用開始日	年	月 日	
	サービス内容	予定回数	備考
□訪問介護		/週	
□訪問入浴介護	生	/週	*本人・家族の意向、希望サービス 等
□訪問看護		/週	□有 □無
□訪問リハビリテ	ーション	/週	(有の場合の具体的な内容)
□通所介護(デ		/週	
加算メニュー □ 運動 □ 栄養 □ □腔		/旭	
□ 通所リハビリテ-	ーション(デイケア)	ΛΉ	
加算メニュー 運動 常養 口腔		/週	
□短期入所(ショートステイ)		/月	
□居宅介護療養	養管理指導	/週	* 医師への指示依頼内容
□福祉用具貸与			
□ 特定福祉用具	具販売		
□ 住宅改修			1
□介護保険施設	 役の利用		1
□その他	()		1

月 日までに返信をお願いします。

依 頼 状 (総合事業・予防給付)

								令和	年	月	日
			様		,	名 話					
		介護サービ	ス等に依	系る言	診療情報	提供書	等につい	いて			
おおと 教される	なこのででは、 大工ではまれたでは、 大学ではまれたできる。 などのできる。 などのできる。 などのできる。 などのできる。 などのできる。 などのできる。 ないできる。 なし。 ないでを。 ないできる。 ないでを。 ないでを。 ないでをでをでをできる。 ないでをでをでを	はにおかれましてはますますこでは生駒市の指導により、介護・介護予防指示書」もしくでは、利用者の自立支援、重度は、下記の利用者のサービスは、下記の利用者のサービスでは、ようお願いいたします。は、大りますが、 月 日本は、大りますが、 され入りますが、 され入りますが、 され入りますが、 され入りますが、 され入りますが、 されたしております	↑護は化利 ・ まれの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	け診おあ ごの	- ビス計 に 情報 に り に り に り に に り に た に り に た に た り た に た に	画 共 クラの (ケラの) と で か と で か と ま か る で か か る で か か る で か か る で か か る で か か る で か か る か か る か か か か	アプラン P作成を P行って 留意事項 トようお)作成 お願い おりま 等の情 願いい	し、医学 す。 報を別え たします	≠的な留 系の様式 ⊢。	/ 意事項 にてご
					記						
氏 名			生	年月日	□明治	一大正	□昭和	1	年 .	月 日	
要介護度				申請中	□ 事業対	象者※	□ 要3	支援 1	□ 要支援	2	
丰	剪効期間				年	月		年 月	B		
利	用開始日				年	月	日				
		サービス内容	予定回	数	基本	チェック	7リスト ((実施日:	年	月 日	∃)
	_	プPLUS教室 ービスC・訪問型サービスC)		/週	社会 生活	運動	低栄養	口腔	閉じ こもり	認知 機能	うつ
	□ パワーアッ	プ教室(通所型サービスC)		/週							
総	□転倒予防	5教室(通所型サービスC)		/週		-	-	-	-	•	-
合	□ 介護予防	5通所介護相当サービス 		*本人・家族の意向、				-ビス 等			
事	選択メニュ				□有	無					
業	□ 通所型サービスA			/週	(有の場合	の具体的	な内容)				
	選択メニュー ■運動 ■栄養 ■口腔			Λ⊞							
		お訪問介護相当サービス ()		/週							
	□その他										
	選択メニュ			/週							
予	□介護予防福祉用具貸与										
n+	□ 特定介護	養予防福祉用具販売									
防	□介護予防	介護予防訪問入浴介護		/週	/週						
給	□介護予防訪問リハビリテーション			/週							
-	□介護予防	5訪問看護		/週							
付	□介護予防	5短期入所(予防ショートステイ)		/月							
	□介護予防	5住宅改修									

□その他

	□居宅介護•介護			年 月
	□診療情報提供	書 (どちらかにチェック	して下さい。)	
【介護サービス・総合導	事業/利用目的(該当する	5ものに○): 在宅	通所・ 短	望期入所 ・ 入所 】
介護提供事業者・生駒市長		医療機関名		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
71 (20c) (1) (1)	殿	担当医氏名		
利用者氏名		生年月日 M·T·S	年 月	日 性別 男・女
利用者住所		電話番号		
診療形態 1 外来(定期		2 訪問診察	(第 曜日・	第 曜日 ・不定期)
3 入院 年 病名 1	月 日より	4 その他 病名 2	(
病名 3		病名 4		
治療内容(投薬内容含む)				
[[[]原[]]存([汉来[]]存百亿)				
病態の安定性	□安定 □不安定		□悪化	T
発生の可能性が高い病態		○禁 □移動能力の低下		
		□摂食・嚥下障害 □脱 閉塞 □癌等による疼痛	∴水 □徘徊 □ネ	學增
□ 障がい高齢者の日常生活自立)日堂生活自立度(言	
	A1 · A2 · B1 · B2			Ia · IIIb · IV · M
サービス利用における生活機能		1 期待できる	2 期待で	
医学的管理の必要性	□通所リハビリテーショ	ン 口訪問リハビリテー	ション 口訪問看	護 □訪問診察
	□訪問栄養食事指導	□訪問薬剤管理指導	□短期入所療養	全介護
サービス提供時における医学的	的観点からの留意事項			
内服治療薬及び外用薬につい				
血圧について	入浴可能な身体状況		mHg以下、	
		/ mmHg)		
移動について		こ注意 □移動時見守りな		
A 書の取代 コン・マ) (分以内) 口;		
食事の形態について				
水分摂取(嚥下)について 認知症に関して、理解及び記り			曼 口小分削胶 無	'有(CC/ 日)
心が近に関して、生性及してし	思・ 印(図1) 野()(C)() () () ()	日尼学供)
		ついて実施する上での留	意事項	
□安静時心電図 1.正 6. そ	常範囲 2. 調律異常 その他(3. 心肥大 4. 刺泡	數伝導異常 5. 🛭	虚血性変化)
□運動可能な血圧の上限(/ mmHg □	運動可能な最大心拍数	回/分	,
□運動への参加 1.	可・2.否 ()
□リハビリテーション施行につい	って(時間的制	引限 有・無 約	分まで)	
実施 □禁止 内容 □可動域制	□リハビリ 訓限 無 ·有(テーションをすすめて良い	•)
□ 四谷 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	が 無・有 (箇所 無・有 (箇所	ŕ:		,
	動は禁止			,
□メンタル	リハビリ (音楽療法・作業	療法)		
その他留意事項:				

日

その他、介護サービス・総合事業利用に関する意見(栄養機能改善や、口腔機能向上に関すること等も含む)